

なかなか学校が再開されず家で過ごす時間が長くなっていますが、皆さんはどのようにお過ごしでしょうか？この機会に是非1・2年生の復習もしておくようにしてください。

さて、今号では進路の種類についてお話しします。進路選択をするときには基本的に就職もしくは進学を選ぶことになります。各進路先には次のような特徴があります。自分にあった進路を見つけて、現時点の進路希望を保護者の方とよく相談して「第1回進路希望調査」に書いてください。

就職 高等学校には進学せずに、仕事をする。

神奈川県の前年度（平成31年度）の卒業生68,742人のうち就職者は61人。

進学 高等学校に行き、勉強する。

公立 国もしくは都道府県、政令指定都市が設置した高等学校の呼び名。

行政が設置しているので、授業料が安い、各地区に設置されている。

私立 公立の教育施設に該当しない教育施設。教育カリキュラムが公立高校と比べて自由なため、留学など各学校の特色が出しやすい。公立高校と比べて入学金や学費はかかるが、その分施設が充実している場合が多い。

～併願とは～

公立高校を第1志望にしているが、公立高校に進学できなかった場合に『私立の高校に進学する約束のもと受験する制度』。公立高校に合格したら、公立高校に進学する。なぜ必要なのか？

公立高校は原則1校しか受験できません。公立への進学しか考えていないとしても、公立1本での受験はとても危険です。たとえ自分の実力が合格圏に入っている、当日の緊張や交通トラブル、体調不良・病気など入試当日は何が起きるかわかりません。もしもの時のために私立の併願校を用意しておきましょう。

第1回進路希望調査を同封しました！

「もう進路希望調査?!」と感じる人も多いと思いますが、現時点で皆さんが考えている進路を聞きたいと思います。当然まだ具体的な学校名までは決まっていない人がほとんどだと思います。学校名がわからない、決まっていない人は学校名の記入は必要ないです。現在考えている進路について保護者の方とよく相談して、考えてください。提出はしづらいので、担任の先生からの電話連絡のときに口頭で教えてください。

早ければ5月13日ごろから担任より連絡があります。それまでにどのような進路にするかの相談をしておくようにお願いします。

「2020 学校調べ」も同封しています。実際に調べてイメージを固めてください。保護者の皆様へ

これから何度か進路希望調査を書いていただくことになります。それをもとに三者面談や進路に必要な書類を作成していきます。保護者の皆様と、何よりもお子様が納得した進路決定をしてほしいと思っています。毎回お子様とよくご相談いただき、提出していただければと思います。よろしくお願いいたします。